

農林ワーキング・グループにおける今期の主な審議事項

平成 29 年 9 月 20 日
農林ワーキング・グループ
座長 飯田 泰之

1. 林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の推進

森林の管理経営を意欲のある持続的な林業経営者へ集積・集約化する方策や、これを補完するために市町村等が担う公的仕組みとその持続可能な実行を担保する財源を含めた枠組みについて検討する。

2. 農業競争力強化と地域経済活性化に向けた農地の利活用の促進

- (1) 農地中間管理機構を軸とする農地の集積・集約化の更なる推進に向けた対策や、過度な転用期待に伴い流動化が拒まれている状況の改善策について検討する。
- (2) 新たな技術革新を活かした農業生産を支える多様な施設・設備の設置や運用を行う場合の農地法における取扱いについて検討する。

3. 農地・林地に関する所有者不明問題

意欲ある経営者や地域社会が新たな取組に踏み出そうとする際の阻害要因となる所有者不明の農地・林地について、農業生産基盤強化、国土保全等の観点から、新たな所有・利用のあり方について検討する。

4. 卸売市場法の抜本的見直し

経済社会情勢の変化を踏まえて、卸売市場法を抜本的に見直し、合理的理由のなくなっている規制は廃止すべく検討する。

5. 重点的フォローアップ

全農が生産資材の購買事業の見直し・農産物の販売体制強化等を盛り込んで策定した新たな年次計画の実施状況をはじめ、中央会制度から新たな制度への移行、地域農協組織の信用事業の農林中金等への譲渡等、「農協改革集中推進期間」にあるJAグループの自己改革の進捗状況をフォローアップし、真に農業者のための改革が実現するように促す。